

第 1 期中間報告会開催

REF 第一期(通算第 3 4 期) 中間報告会が二月七日(金) 織協ビル 803 会議室で開催された。

今回は「交通分科会」「地象分科会」の二分会によるこれまでの活動報告及び新規入会者について報告された。

加藤哲男会長からの挨拶に始まり、杉本達也氏の司会のもと、各発表時間十分、講評三分、質疑三分の時間内でそれぞれの分科会の発表、講評が行なわれた。報告後には、加藤哲男氏による総評が行われた。

また、稲葉隆夫氏より会計規程等についての報告がされた。

報告会終了後、別室にて懇親会が開かれ、終始和やかな雰囲気では会員相互の交流が深められた。



第 1 期中間報告会
(加藤会長のあいさつ)

【交通分科会】

「地方都市の中心駅と市街地の関係に関する歴史的考察」

発表 今度 充之
講評 梅田 祐一

明治5年の新橋・横浜間の鉄道開通以来、我が国の鉄道は急速に整備が進み明治29年に福井駅ができた。福井市の場合には駅が旧福井城と比較的接近し当時の市街地と郊外地の境界部分の場所が選ばれた。しかし、駅の立地場所は各都市で様々であり、それが各都市のその後の都市形成に大きな影響を及ぼしたと言える。

第34期交通分科会では、調査対象を増やし、①駅設置時における市街地の状況の把握、②拡大した現在の駅と市街地の関係の把握、③今後の都市収縮期における駅と市街地の新たな方向性を探る。なお、調査の対象は20〜50万人程度の規模の地方都市として、統計資料による分析、適宜、現地調査を実施してきた。

今期は計3回の分科会を開催し、今日現在で7箇所(通算計24箇所)の現地調査、文献調査を実施している。調査した各都市について、拡大した市街地の状況、市街地拡大の傾向とその要因について整理し、今後更に加速するであろう人口減少と超高齢化を睨み、収縮過程に入る都市の構造及び都市システムのあり方のヒントを探っていききたいと思う。

【地象分科会】

「台風被害と防災のあり方について」

発表 小林 孝彰
講評 橋本 拓己

近年、福井県で起こった台風被害は、平成23年の台風2号、昨年の台風18号と、嶺南地区での被害が目立つ。特に昨年発生した台風18号について、その被害状況を、台風の特徴、被災地域の地形条件を整理する。

台風18号の特徴としては、台風の北側に集中豪雨が発生しているところである。また台風18号は気象庁が25年8月30日から開始した「特別警報」が初めて発令されたことも大きな特徴といえる。

台風18号によって県内では、9月15日の深夜から16日の昼過ぎまで、ほぼ継続的に雨が降り続いており小浜市では総降水量が413.5mmに及んでいることが分かる。

台風18号により嶺南地方で発生した災害としては、小浜市北川右岸や三方五湖の浸水被害、山地部の斜面崩壊および土石流災害等が確認されている。嶺南地方の山地が福井豪雨の発生した地域に比べ比較的標高が低く、沖積平野までの距離が短い事に起因するものと考えられ、嶺南地方の特徴をよく反映したものと見受けられる。

台風18号の被害を受けた地形的特徴を捉えて問題点をまとめることで、事前の対応や避難方法などを考慮し、防災対策のあり方について整理していき、現地視察による地形的特徴、避難対応等の把握を行って防災、減災対策のあり方について考察していききたい。



発表を行う今度氏、講評を行う梅田氏



発表を行う小林氏、講評を行う橋本氏

【第一期 幹事会開催】

第一期第一回幹事会が七月三十一日(水)、第二回幹事会が十二月十七日(火)、第三回幹事会が一月二十八日(火)アオツサ7階706会議室にて行われた。

議題としては、第一回幹事会では、各部門の本年度計画について意見交換、REFニュースの発送と会費請求、現地調査報告(富山)、REF総会等の報告(REFニュース)、ホームページなどについての報告がされた。第二回幹事会では、会員の入退会、新ホームページの作成についての報告がされた。第三回幹事会では、第一期中間報告会の発表、助成金等の支出方法についての報告がされた。

【第1回(REF通算86回) REF談話会】

第1回(REF通算86回) REF談話会が8月27日(火) 福井市地域交流プラザ706会議室(AOSSA7階)で行われた。テーマは「調査事業 富山研修会」

平成27年春の北陸新幹線長野〜金沢開業を目前に着々と準備が進むJR富山駅および富山市街地の整備状況と自転車共同利用システム、平成18年4月29日に開業後、今年で8年目を迎えた富山ライトレール、さらに新幹線の新設駅として建設工事が進む高岡市の新高岡駅とその周辺を視察した研修の報告がされた。

発表者は、

- 川本義海氏 (福井大学大学院)
- 菅原桂一郎氏 (福井県交通まちづくり課)
- 木村晃規氏 (福井県福井土木事務所)



富山視察時の集合写真

【研究分科会運営規程・会計規程】

総会のあいさつでは加藤哲男氏より平成26年1月20日に制定された、研究分科会運営規程についての説明があった。特に研究分科会の設立要件(第2条、正会員3名以上を含む5名以上の構成員)や活動計画と予算に関する事(第6条、毎年4月に当該年度の活動計画及び予算を理事長に提出)の報告があった。続いて、稲葉隆夫氏より会計規程についての説明があった。特に領収証等の必要性(第28条、金銭の収納または支払をしたときは領収証または預り証を発行する)や、監査の実施方法(第34条、公認会計士による監査)の説明があった。

【会員紹介】

【新入会員紹介】

- 清水 健 (福井土木事務所)
- 鈴木 勇人 (福井土木事務所)
- 木津 蛍 (福井土木事務所)
- 藤田 崇史 (福井土木事務所)
- 窪田 吉倫 (福井土木事務所)
- 宮本 数男 (元福井県庁)

【新ホームページのお知らせ】

NPO法人化に併せてホームページを改設しました。定款、規程、REFニュースおよび最新情報を掲載しています。
URL: <http://www.nporef.com/>

【今後のスケジュール】

各分科会は4月中に当該年度(H26)の活動計画及び活動予算を提出する。併せて今年度分(H25)は遡って作成する。総会は7月5日(土)に開催予定。

【編集後記】

REFの学生賛助会員の一人として行動をして、福井県のようなことについて興味を持ちました。特に富山への視察は今までの都道府県でも見たことのない計画(自転車レンタルシステム、トラムの運行等)に非常に関心をしました。

私は三月末で福井県を出てしまうのですが、地域における着眼点を意識する際の何かが身についたような気がします。四月からは地元関東の市役所で勤務することになりますが、REFで身につけた経験をもちに頑張りたいと思います。

学生賛助会員 牛口